

新編
教育唱歌集

文部省檢定
教育音樂講習會編

第一集

K120.73
41a
1

K120.73

41a

1

文部省檢定濟
明治三十九年二月二十日

教育音樂講習會編纂
新編
教育唱歌集
第一集

東京開成館藏版

本書の歌曲は主として、諸大家が特に本書のために新作せられたるものにして、其中特に「音樂學校許可」と註せるものは該校が管て高等師範學校附屬の時代に歌曲の引用を許可したりし時、特に請ひて、本書に轉載することを許されたるものに係り、其他の歌曲は「新撰國民唱歌」及び東京開成館が著作権を有するもの、若しくは本書の編纂に當りて、當該著作権所有者の許諾を得たるものなり。

新編 教育唱歌集第一集目次

一 ほたる (國定讀本歌詞)……………	一
二 からす (國定讀本歌詞)……………	三
三 お月さま (國定讀本歌詞)……………	五
四 小猫……………	七
五 小川 (國定讀本歌詞)……………	九
六 まへ鼠……………	一一
七 しゃぼんだま……………	一三
八 金魚……………	一五
九 野あそび (國定讀本歌詞)……………	一七
一〇 ひな祭……………	一九
一一 時計 (國定讀本歌詞)……………	二一
一二 風車 (音樂學校許可)……………	二三
一三 うづ……………	二五
一四 お馬……………	二七
一五 かたつぶり……………	二九
一六 たこ (國定讀本歌詞)……………	三一
一七 氷がはった……………	三三
一八 鬼あそび……………	三五

一九 あさがほ (國定讀本歌詞)……………	三七
二〇 春の遊 (國定讀本歌詞)……………	三九
二一 進め進め (音樂學校許可)……………	四二
二二 金太郎……………	四四
二三 餅つき……………	四七
二四 蝶々 (音樂學校許可)……………	四九
二五 花さく春 (音樂學校許可)……………	五二
二六 友よ友よ……………	五五
二七 霞か雲か (音樂學校許可)……………	五七
二八 見よ見よ 兒ども……………	五九
二九 とんぼ……………	六一
三〇 動物園……………	六三
三一 龜と兎……………	六五
三二 たまき (音樂學校許可)……………	六七
三三 紙風船……………	六九
三四 四千餘萬 (音樂學校許可)……………	七一
三五 魚と水……………	七三
三六 軍隊あそび……………	七五

目次終

ほたる

ほたる来い。

ホー、ホー、

こつちの水は あまいぞ。

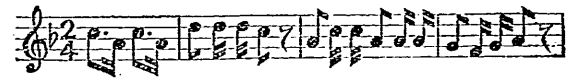
あつちの水は にがいぞ。

ホー、ホー、^{ほたる}螢こい。

ほたる

ほたる

ほたる



5・3 5・3 | 6 6 6 5 0 | 3 5 5 3 3 3 | 2 1 2 3 0 |
* - * - * タルコイ アツチノミヅハ ニガイゾ



5 6 6 5 3 3 | 5 3 2 1 0 | 5・3 5・3 | 6 6 6 5 0 |
コツチノミヅハ アマイゾ * - * - * タルコイ

からす

からす
 からすが
 ないていく。

カ、
 カ、
 からす、
 からすが
 ないていく。

どこへ
 ないていく。

おみやの
 もりへ。

おてらの
 やねへ。

からす

四

からす

からす



| 2 1 2 1 | 2 2 6 | 2 1 1 1 | 2 2 2 2 |
 カーカールラス ガラスガ ナイテイク



| 2 2 1 | 2 2 2 2 6 | 3 3 5 3 | 2 1 2 |
 フコヘ ナイテイク オミヤノ モリへ



| 3 3 5 3 | 2 1 2 | 2 1 2 1 | 2 2 6 |
 オテラノ ヤネヘ カーカー カラス



| 2 1 1 1 | 2 2 2 2 2 ||
 カラスガ ナイテイク

三

お月さま



5 1.1 | 1.1 1 0 | 5.5 1.1 | 1 0 |
 (一) オ ト サ サンー オーカア サン
 (二) まるく まるく まんまるく



3 4 3 | 2 1 | 2.2 5.5 | 5 0 |
 ハ ヤ タ テ テ マーラン マ
 ま りの よーに まんまるく



5 1 1 | 3 2 1 | 3 2.2 | 1 0 ||
 オ ツ キ サ マ ガ テ マ シ タ
 も りの う へ に で ま し た

お月さま

(一) おとうさん。おかあさん。

早く出で、ご覧よ。

お月さまが できました。

(二) 圓く、まるく、まんまるく、

まりのよーに まんまるく、

森のうへに できました。

小 猫



	1̣. 1̣ 1̣ 5̣ 6̣ 5̣ 5̣ 7̣. 1̣ 2̣ 7̣ 1̣ 3̣ 2̣ 9̣
(一)	ネ コ ネ コ コ ネ コ コ ナ キ テ ア ソ バ
(二)	つ か れ た と き は ね じ れ や ひ ざ に



	1̣. 1̣ 1̣ 5̣ 6̣ 5̣ 5̣ 7̣. 1̣ 2̣ 7̣ 1̣ 3̣ 1̣ 9̣
	コ ロ ガ ル マ リ ノ ア ト へ コ コ
	よ る に は お き て ね す み を と れ や

小 猫

(一) ねこねこ。小^こ猫^{ねこ}。 こち^き來^きて、遊^{あそ}べ。

ころがる鞠^{まど}の

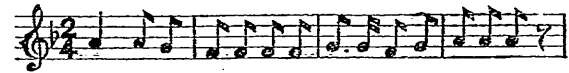
あと追^おへ。小^こ猫^{ねこ}。

(二) 疲^{つか}れたときは、眠^{ねむ}れや、膝^{ひざ}に。

夜^{よる}には起^おきて、

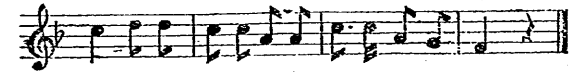
鼠^{ねずみ}をとれや。」

小川



| 3 3 2 | 1 1 1 1 | 2 2 1 2 | 3 3 3 0 |

(一) イ ヘ ノ マ ヘ チ バ ナ ガ レ ル コ ガ ハ
(二) め だ か う か せ て た の そ ば と ほ り



| 5 5 6 | 5 5 3 3 | 5 5 3 2 | 1 0 ||

コ ガ ハ ナ ガ レ テ フ コ ヘ イ ク
な か ま あ つ め て お ほ か け

小川

(一) 家のまへをば

流れるこがは。

小川流れて、どこへいく。

(二) めだか浮かせて、

田のそばとほり、

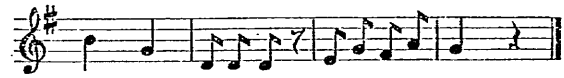
なかまあつめて、大川へ。

まへ鼠



3 3 1 1 | 5 5 5 0 | 5 4 3 2 | 3 5 5 0 |

- (一) カーゼニ マハル クルマノ ヨーニ
- (二) はーなに あそぶ 5よー5よの よーに
- (三) アンマリ マサテ メガマウ タラバ



3 1 | 5 5 5 0 | 6 1 7 2 | 1 0 ||

- ク ル クルト マへネズ ミ
- か る がると まへれず み
- マ タ ノチニ マへネズ ミ

まへ鼠

(一) 風かぜにまはる 車くるまのよーに、

くるくと 舞まへねずみ。」

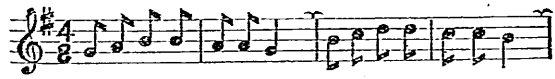
(二) 花はなにあそぶ ちよーちよのよーに、

かるがると 舞まへねずみ。」

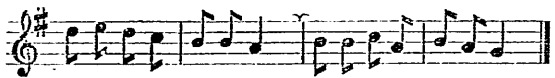
(三) あんまり舞まうて、目めがまうたらば、

またのちに 舞まへねずみ。」

しゃぼんだま



	1	2	3	3	2	2	1	3	4	5	5	4	4	3
(一)	シ	ボ	ン	ノ	ミ	ヅ	チ	ク	ダ	ニ	テ	フ	ケ	マ
(二)	あ	ち	ら	に	ふ	わ	り	こ	ち	ら	に	ふ	わ	り
(三)	ゴ	シ	キ	ニ	ヒ	カ	リ	ア	ガ	レ	ル	タ	マ	チ



	5	6	5	4	3	3	2	3	3	4	2	3	2	1
	フ	ク	レ	テ	マ	ル	ク	ゴ	シ	キ	ニ	ヒ	カ	ル
	あ	が	れ	ば	さ	が	リ	さ	が	レ	バ	あ	が	ル
	マ	ネ	ケ	バ	ト	ホ	ク	ニ	ダ	テ	ゾ	キ	ユ	ル

しゃぼんだま

- (一) しゃぼんの水を 管にて吹けば、
ふくれて、圓く、五色に光る。
- (二) あちらにふわり、こちらにふわり、
あがればさがり、さがればあがる。
- (三) 五色にひかり、あがれる球を
まねけば、遠く逃げてぞ消ゆる。

金魚

(一) 池いけの金魚きんぎょ 金魚きんぎょ

おほきな金魚きんぎょちひさな金魚きんぎょ

(二) 赤あかい金魚きんぎょ 金魚きんぎょ

手てのなる方はうへ尾おし鱗ひれを振ふって、

(三) 白しろい金魚きんぎょ 金魚きんぎょ

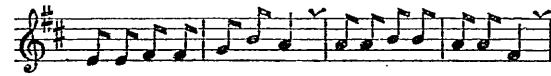
そちらへいくな。麩ふの浮うく方はうへ、
こゝへ、こゝへ、それよ。

金魚



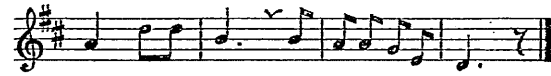
| 1 3 | 5 0 5 | 4 4 3 2 | 1. 0 |

(一) イ ケ ノ キ ンギョキン ギョ
(二) あ か い き んぎょきん ぎよ
(三) シ ロ イ キ ンギョキン ギョ



| 2 2 3 3 | 4 6 5 | 5 5 0 6 | 5 5 3 |

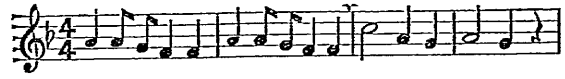
オホキナ キンギョ チヒサナ キンギョ
てのなる ほへ なひれを ふって
ソチラヘ イクナ フノウケ ホーへ



| 5 i i | 6. 6 | 5 5 4 2 | 1. 0 ||

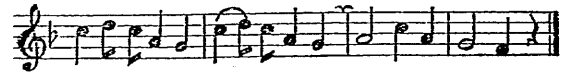
コ コー へ コ イヤココ へ
コ コー く コ いやはやく
コ コー へ コ コヘソレ ヨ

野あそび



3 3 2 1 1 | 3 3 2 1 1 | 5-3 2 | 3-2 0 |

- (一) ハルがキタ ハルがキタ ドーコニ キーダ
- (二) はながさく はながさく どーこに さーく
- (三) トリがナク トリがナク ドーコデ ナーク



5 6 5 3 2 | 5 6 5 3 2 | 3-5 3 | 2-1 0 ||

- ヤマニキタ ノーニキタ サートニ キーダ
- やまにさく のーにさく さーとに さーく
- ヤマデナク ノーデナク サートデ ナーク

野あそび

(一) 春^{はる}がきた。 春^{はる}がきた。 どこにきた。

山^{やま}にきた。 野^のにきた。 さとにきた。

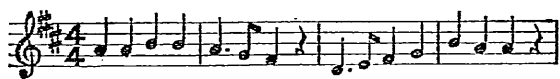
(二) 花^{はな}がさく。 花^{はな}がさく。 どこにさく。

山^{やま}にさく。 野^のにさく。 さとにさく。

(三) 鳥^{とり}がなく。 鳥^{とり}がなく。 どこでなく。

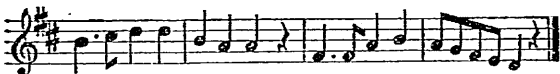
山^{やま}でなく。 野^のでなく。 さとでなく。

ひな祭



| 5 5 6 6 | 5 . 4 3 0 | 1 . 2 3 4 | 6 5 5 0 |

- (一) モーセン シキテ ヒナダン カザリ
- (二) もしをば をりて かびんに さして
- (三) ケフコソ ヒナノ マツリノ アソビ



| 6 . 7 1 1 | 6 5 5 0 | 3 . 3 5 6 | 5 4 3 2 1 0 ||

- マツルモ ウレシ ソガニン ギョ---ナ
- かざるも うれし だいの ひな-な
- ハハサマ オキヤク ソレラハ プール-ジ

ひな祭

(一) 毛氈敷きて、雛壇かざり、
まつるも嬉し、わが人形を。

(二) 桃をば折りて、花びんにさして、
かざるも嬉し、内裏の雛を。

(三) 今日こそ雛の祭のあそび。
母様お客。われらはあるじ。

時計



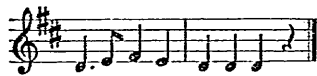
3. 3 3 2 | 1. 1 1 0 | 2- 1 2 | 3. 3 5 5 |

(一)	トケイ	が	ナツタ	キー	キヨ	コド	モラ
(二)	とけい	が	なつた	いー	そげ	こども	ら
(三)	トケイ	が	ナツタ	ナー	ラヘ	コド	モラ
(四)	とけい	が	なつた	あー	そべ	こども	ら



6. 6 1 6 | 5 5 5 0 | 6- 5 5 | 3. 5 3 2 |

モ	ウ	ヨ	が	ア	ク	タ	キー	モノ	キ	カ	ヘ	ヨ	
が	っ	こー	ヘ	い	そ	げ	つー	つ	み	か	か	へ	て
ヨ	ク	セ	イ	ダ	シ	テ	ホー	ン	チ	ヒ	ラ	イ	テ
が	っ	こー	が	ひ	け	た	はー	や	く	か	へ	て	



1. 2 3 2 | 1 1 1 0 ||

ゴ	ハ	ン	モ	デ	キ	タ
お	く	れ	ん	よー	に	
ッ	キ	ミ	チ	ス	ル	ナ
ま	り	こ	ま	も	っ	て

時計

- (一) 時計がなつた。おきよ、こどもら。もう夜があけた。きものきかへよ。御飯もできた。
- (二) とけいがなつた。急ぎ、こどもら。学校へいそげ。つゝみかへて、おくれんよーに。
- (三) 時計がなつた。習へ、こどもら。よくせいでして。本をひらいて、わきみをするな。
- (四) とけいがなつた。遊べ、こどもら。学校がひけた。早くかへって、まよこまもって。

風車

6 6 6 5 | 3. 0 | 3 5 | 6. 0 |
 (一) カザル ヤ カセ ノ
 (二) みづぐる ま みづ の
 5 3 | 2 1 2 | 3 3 5 5 | 6. 0 |
 ヤ ニ ヤ - ニ メクルナ ヤ
 ま に ま - に めぐるなり
 1̇ 2̇ | 1̇ 2̇ | 1̇ 2̇ | 6 5 |
 ヤ - ヤ ズ メ ク ル モ
 ヤ - ま ズ め ぐる
 3 5 5 | 6 5 3 | 2 1 | 2. 0 ||
 ヤ ヤ ズ メ ク ル - ゑ
 ヤ ま ズ め ぐる - へ

風車

(一) かざぐるま。

風のまに〜 めぐるなり。

やまずめぐるも。 やまずめぐるも。

(二) 水ぐるま。

水のまに〜 めぐるなり。

やまずめぐるも。 やまずめぐるも。

うづ

(本調又は變ホ調に移すことを得)



3 3 3 1 3 | 5 5 5 3 | 2 2 2 1 2 | 3 3 3 5

- (一) ウヅマケー ウヅマケ トモダチー ソロヒテ
- (二) うづまきー かへせや くるくるー まはりて
- (三) ウヅマケー ウヅマケ トモダチー ソロヒテ
- (四) うづまきー かへせや いざいざー わがとも



6 6 1 7 6 | 5 5 5 3 | 6 6 5 4 | 3 2 1 ||

- ウシホノー ゴトクニ ウヅマケ コドモ
- くるまのー ごとくに まはれや こども
- ウエセズー ウヅマケ ウシホノ ゴトク
- くるくるー まはりて くるまの ごとく

うづ

(一) 渦まき。渦まき、友だちそろひて。

(二) 渦まきかへせや、くるくる廻りて。
潮うしほの如ごとくに 渦まき。こども。」

(三) 渦まき。渦まき、友だちそろひて。
車くるまの如ごとくに 廻まはれや。こども。」

(四) 渦まきかへせや。いざいざわが友。
たえせず渦まき。潮うしほのごとく。
くるくる廻りて、車くるまのごとく。」

お馬



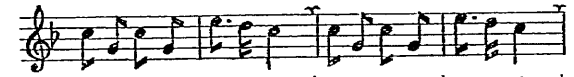
| 1 3 5 | 1 3 5 | 1 1 2 2 | 3 3 2 |

(一) キミノ クマハ チャイロノ オウマ
(二) きみし きへい ぼくもー きへい



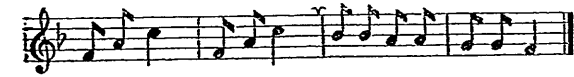
| 1 3 5 | 1 3 5 | 1 1 2 2 | 3 3 2 |

ホクノ クマハ シロケノ オウマ
ともし ゆかん あれのを こえて



| 5 2 5 2 | 7.6 5 | 5 2 5 2 | 7.6 5 |

ススメヤ ススメ アノモリ カゲニ
いざいざ すすめ ちいろの おうま



| 1 3 5 | 1 3 5 | 4 4 3 3 | 2 2 1 ||

イツゲ イツゲ オクレヌ ヨーニ
すすめ すすめ しるけの おうま

お馬

(一) 君の馬は、茶色のお馬。

僕の馬は、白毛のお馬。

進めやすゝめ、あの森かげに。

いそげいそげ、おくれぬよーに。

(二) 君も騎兵。僕も騎兵。

共にゆかん、荒野をこえて。

いざいざ進め。茶色のお馬。

すゝめすゝめ。白毛のお馬。

かたつぶり

1 1 | 5 5 | 6 6 | 5- | 4 4 | 3 3 |
 (-) ヲガ イヘ ヒト ツー オヒ ユク
 (二) だ せ だ せ つ の な- だ せ だ せ

2 2 | 1- | 5 5 | 4 4 | 3 3 | 2- |
 ▲ シ ヨー ド コ マ テ ユ キ テー
 ヤリ な- こ こ る の ま ま に-

5 5 | 4 4 | 3 3 | 2- | 1 1 | 5 5 |
 ド ナ ラ ヘ カ ヘ ル- ヲ シ ロ ノ
 は ひ ゆ く む し よ- め は そ の

6 6 | 5- | 4 4 | 3 3 | 2 2 | 1- ||
 ヤ ナ カ- ト ナ リ ノ カ キ カ-
 ま き に- つ け る も を か し-

かたつぶり

(一) わが家一つ 負ひゆく蟲よ。

どこまで行きて、どちらへかへる。

うしろの藪か、となりの垣か。

(二) だせだせ角を。だせだせ槍を。

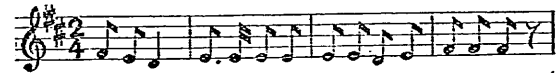
こゝろのまゝに はひ行く蟲よ。

目はそのさきにつけるもをかし。

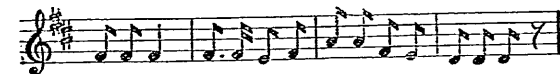
揚あれたたこ。たこ。字じ風かぜに繪え風かぜ。
 つけたうなりをブン／＼させて。
 下げた紙かみの尾おヒラ／＼させて。
 空そらに飛とんで居ゐるあの鳶とびよりも、
 あがれたたこ風かぜ、もつと／＼高たかく。

たこ

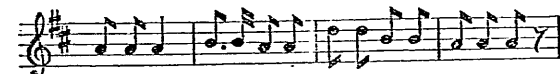
たこ



| 3 2 1 | 2 2 2 2 | 2 2 1 2 | 3 3 3 0 |
 アゲレ タコタコ シゲコニ エゲコ



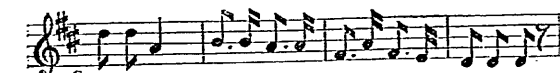
| 3 3 3 | 3 3 2 3 | 5 5 3 2 | 1 1 1 0 |
 ツケタ ウナリチ アンブン サセテ



| 5 5 5 | 6 6 5 5 | 1 1 6 6 | 5 5 5 0 |
 サゲタ カミノチ ヒラヒラ サセテ



| 3 5 5 | 3 3 3 1 1 | 2 2 3 2 | 1 1 1 0 |
 ソラニ トンテキル アノトビ ヨリモ

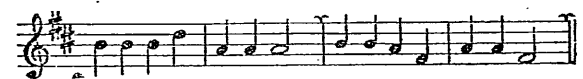


| 1 1 5 | 6 6 5 5 | 3 5 3 2 | 1 1 1 0 ||
 アゲレ タコタコ モットモット タカク

氷がはった



| 5 6 5 3 | 2 2 1- | 2 2 2 1 | 3 5 5- |
 (一) コホリガ ハッター コホリガ ハッター
 (二) こほりが はった- こほりが はった-
 (三) コホリガ ハッター コホリガ ハッター



| 6 6 6 1̣ | 5 5 5- | 6 6 5 3 | 5 5 3- |
 カホテチ アラフ- タラヒノ ミヅハ-
 きんぎの いけば- がらすの いたの-
 ナツマデ トケズ- コノママ アレヤ-



| 1 3 5 3 | 2 2 1- ||
 カガミト ナツテ-
 よ-に なつて-
 トケズニ アレヤ-

氷がはった

(一) 氷がはった。氷がはった。

顔手を洗ふ。鹽の水は、鏡となつて。

(二) 氷がはった。氷がはった。

金魚の池は硝子の板のよーになつて。

(三) 氷がはった。氷がはった。

夏まで解けず、このまゝあれや。解けずにあれや。

鬼あそび

(ホ調又は變ホ調に移すことを得)



| 1 1 2 3 3 | 2 1 2 3 1 5 | 3 3 4 5 5 |

(一) アノーコチ トーラーウカ コノーコチ
(二) おにーこい おにーこい こにーまで
(三) ツレーツレ イーマーイク アレーアレ



| 4 3 4 5 3 1 | 1 7 6 5 3 | 1 7 6 5 - |

トーラーウカ アノーコモ ヨイーコー
こにーこい こにーこい おにーよー
イーマーケル ニガーシハ センゾー



| 6 7 1 5 3 | 5 4 2 1 - ||

コノーコモ ヨイーコー
あにーおに おにーやー
トラーレハ センゾー

鬼あそび

(一) あの兒を取らうか。この兒を取らうか。

あの兒もよい兒。この兒もよい兒。

(二) 鬼來い。鬼來い。こゝまで來い。來い。

來い。來い。鬼よ。あの鬼おそや。

(三) それ、それ、今いく。あれ、あれ、今來る。

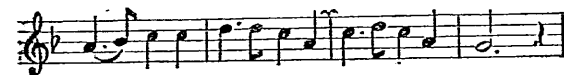
逃がしはせんぞ。取られはせんぞ。

あさがほ



| 1. 2̣ 3̣ 3̣ | 2 2 1- | 2. 1̣ 2̣ 3̣ | 5- 0 |

(一) カキネニ ツルチー マキツケ ター
(二) あかしろ しぼりー どのほな もー



| 3. 1̣ 5 5 | 6. 6 5 3 | 5. 6 5 3 | 2- 0 |

サーイタ アサガホ アカヤシ ロー
けーふは ひるまで さいてゐ てー



| 1. 2̣ 3̣ 3̣ | 2 2 5 5 | 2. 2̣ 3̣ 2̣ | 1- 0 ||

シキリノ ハナモー ウツクシ ヤー
あーした またさけ あさがほ やー

あさがほ

(一) かきれに蔓をまきつけて、

さいたあさがほ、赤や白。

しぼりの花もうつくしや。」

(二) あかしろ、しぼり、どの花も、

今日は、ひるまでさいてゐて、

あしたまた咲け。あさがほや。」

春の遊

5.5 6.5 | 5.5 3.3 | 2.2 1.2 | 3 0 |
 (一) ニ ハ ニ モ ガ 一 サ イ テ キ ル
 (三) コ ヤ マ ラ ニ ス ミ レ ガ サ イ テ キ ル
 (三) ノ ハ ラ ノ サ キ ア テ ナ ノ コ ド モ ガ
 ノ マ ノ ナ ウ カ デ ナ ミン ナ ガ イ ヨ ニ
 3.3 2.2 | 1.1 1 0 | 2 1.2 | 3.3 3.3 |
 マ リ ツ キ ア ソ ビ イ チ ヲ ツ ク オ ト
 ヘ イ タ ィ あ そ び オ ヲ ニ チ フ キ メ ル ヨ
 5.5 3.5 | 6 0 | 5 3.5 | 6.6 5.5 |
 ゴ ン ゴ ン ゴ ン カ ズ チ ヲ ヨ ム コ エ
 と て ち て た せ じ ナ る こ た ー け い
 ジ ャ ン ケ ン ン セ ナ カ ヲ タ タ ク ヨ
 3 2 | 1 0 ||
 ヒー フー ミー
 ー ー ー
 ー ー ー
 トン トン トン

春の遊

(一) お庭に桃がさいてぬる。
 お庭のさきで、

女の兒どもがまりつきあそび。
 まりをつく音、ぼん、ぼん、ぼん。
 かずをよむ聲、ひし、ふし、みし。
 (二) 小山に櫻がさいてぬる。
 小山の上で、

進めすゝめ

(一) ススメ ススメ アシタク ススメ トマレ
 (二) まなべ まなべ つとめて まなべ ならへ

トマレ イチドニ トマレ トマルモ ユクモ
 ならへ たゆまず ならへ まなびの みちを

ナシヘノ ママニ タツモ キルモ ナシヘノ
 たえせず ならへ よむし かくし をしへの

ママニ サクハナモ ナクトリモ オモシロキ
 ままに よむふみし かくしじし おもしろき

ハナツノヤ ススメ ススメ アシタク ススメ
 うひまなび まなべ まなべ つとめて まなべ

進めすゝめ

四二

野原のほらにすみれがさいてゐる。
 野原のほらの中で、

男おとこの兒こどもがへいたたいあそび。
 らっぱふく音おととて、ちて、たし。
 かけるごーれい、一いち、二に、三さん。
 みんなが、いつしよにおにごとあそび。
 おにをきめるよ。じゃんけんぼん。
 せなかたゝくよ。とん、とん、とん。

進め進め

(一) すゝめ、すゝめ。あしとくすゝめ。とまれ、とまれ。
 いちどにとまれ。とまるも、ゆるも、をしへのまゝに。
 たつも、ゆるも、をしへのまゝに。
 さくはなも、なくとりも、おもしろ面白き はなぞのや。
 すゝめ、すゝめ。あしとくすゝめ。
 まなべ、まなべ。つとめてまなべ。ならへ、ならへ。
 (二) たゆまずならへ。まなびのみちを、たえせずならへ。
 よむも、かくも、をしへのまゝに、
 よむふみも、かくもじも、おもしろき うひまなび。
 まなべ、まなべ。つとめてまなべ。」

金太郎



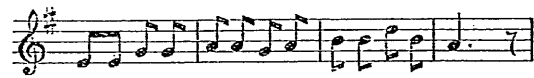
| 3 3 2 1 | 2 2 1 6 | 5 5 3 3 | 2. 0 |

(一) アシガラ キーマノ ヤマキク ニしも
 (二) なみな あそびの たはむれ
 (三) ヤマザニ マーロア イシテナ



| 3 3 2 1 | 2 2 1 6 | 1 2 3 2 | 1. 0 |

ヒートト ナリタル キンタロ ーて
 さーるな けらいに したがへ
 タニマニ ハーエル キチヌキ



| 6 6 1 1 | 2 2 1 2 | 3 3 5 3 | 2. 0 |

チーカラ スケレテ キモフトク
 くーまに またがり わけのぼる
 ハシカケ ローダシ ミチナホ



| 3 3 2 1 | 2 2 1 6 | 1 2 3 2 | 1. 0 ||

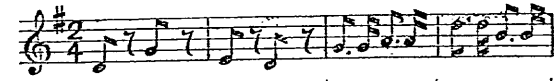
ウチフル チーノノ ちトタカシ
 やーまに なびかぬ ものしな
 チーサナ ゴロモ ヒトノタ

金太郎

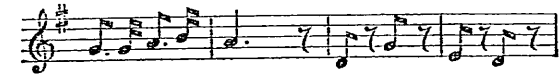
- (一) 足柄山の山奥に、ひととなりたる金太郎。
力すぐれて、膽ふとく、うちふる斧の音たかし。」
- (二) 幼遊のたはむれも、猿を家來に従へて、
熊にまたがり、分けのぼる 山に、靡かぬものもなし。」
- (三) 山路にまるふ石を投げ、谷間にはゆる木をぬきて、
橋かけわたし道なほす をさな心も人のため。」

- (四) 明暮ふるふ斧の音、いつしか漏れて、頼光に
めしいだされし殿の内、その名は高く聞えたり。」
- (五) 鬼の住むとて、世の人の ふるひ恐れし大江山、
こもれる賊を退治せし 一人は君ぞ。その功。」
- (六) 斧のひびきは絶えたれど、絶えぬ武勇のものがたり。
足柄山の峰高く 響くは、熊のなく聲か。」

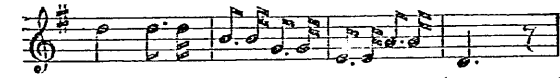
餅つき



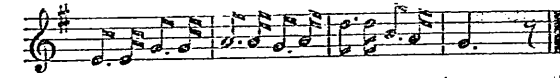
	5 0 1 0 6 0 5 0 1-1 2-2 5-5 3-3
(一)	ギン ギン ギン ギン アタリニ モチツク
(二)	ギン ギン ギン ギン となりに もちつく
(三)	ギン ギン ギン ギン ココモモ モチツク



	1-1 2-3 2- 0 5 0 1 0 6 0 5 0
キ	ネ ノ オ ト ギン ギン ギン ギン
キ	ネ の お と ギン ギン ギン ギン
キ	ネ ノ オ ト ギン ギン ギン ギン



	5 5-5 3-3 1-1 6-6 3-2 5- 0
シ	ョー ガ ツ キタレリ チカクマ デ
シ	ョー が つ きたれり かきねま で
シ	ョー ガ ツ キタレリ ワガヤマ デ



	6-6 1-1 2-2 1-2 5-5 3-2 1- 0
ヨ	ロ コ ヒ ム カ ヘ ヨ セ ロ ト モ ニ
ム	カ ヘ テ ウ タ ヘ ヤ シ ロ ト し に
ヌ	ノ シ ク イ ヘ ヤ モ ロ ト モ ニ

餅つね

(一) ポン、ポン、ポン、ポン。

あたりに餅つく杵の音、ポン、ポン、ポン、ポン。

正月きたれり、近くまで。よろこびむかへよ諸共に。

(二) ポン、ポン、ポン、ポン。

となりに餅つく杵の音、ポン、ポン、ポン、ポン。

正月きたれり、垣根まで。むかへてうたへや、諸共に。

(三) ポン、ポン、ポン、ポン。

こゝにも餅つく杵の音、ポン、ポン、ポン、ポン。

正月きたれり、わが家まで。たのしく祝へや、諸共に。

蝶々



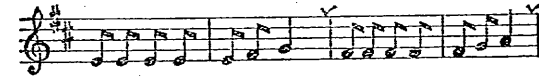
5 3 3 | 4 2 2 | 1 2 3 4 | 5 5 5 |

(一)	チヨ	チヨ	チヨ	チヨ	ナノ	ハニ	トマ	レ
(二)	おき	よ	おき	よ	ねぐ	らの	イ	す
(三)	ツン	ボ	ツン	ボ	コ	チ	キ	メ
(四)	つば	め	つば	め	と	び	こ	つ



5 3 3 3 | 4 2 2 2 | 1 3 5 5 | 3 3 3 |

ナノ	ハニ	アイ	タ	ラ	サ	ク	ラ	ニ	ト	マ	レ
あ	さ	ひ	の	ひ	か	り	の	さ	し	こ	ね
か	キ	ネ	ノ	ア	キ	ク	サ	イ	マ	コ	ソ
ふ	る	す	を	わ	す	れ	す	こ	と	し	も



2 2 2 2 | 2 3 4 | 3 3 3 3 | 3 4 5 |

サ	ク	ラ	ノ	ハ	ナ	ノ	サ	カ	ユ	ル	ミ	ヨ	ニ
ね	ぐ	ら	を	い	で	て	こ	す	ゑ	に	と	ま	り
サ	カ	リ	ノ	ハ	ギ	ニ	ハ	ネ	ウ	チ	ヤ	ス	メ
か	へ	り	し	こ	ろ		な	つ	か	し	う	れ	し



5 3 3 3 | 4 2 2 | 1 3 5 5 | 3 3 3 ||

ト	マ	レ	ヨ	ア	ツ	ベ	ア	ツ	ベ	ヨ	ト	マ	レ
あ	そ	ま	れ	す	す	め	う	た	へ	よ	す	す	め
と	び	こ	よ	つ	ば	め	か	へ	れ	や	つ	ば	め

蝶々

(一)

ちよーちよ。ちよーちよ。 菜の葉にとまれ。

菜の葉にあいたら、 櫻にとまれ。

さくらの花の さかゆる御代に、

とまれよ。あそべ。 あそべよ。とまれ。」

(二)

おきよ。おきよ。 ねぐらの雀。

朝日の光の さしこぬさきに、

ねぐらをいでて、 梢にとまり、

遊べよ。すすめ。 うたへよ。すすめ。」

(三) とんぼ。とんぼ。こちきて。とまれ。

垣根の秋草、いまこそ盛り。

さかりの萩に、はねうち休め、

止れや。とまれ。休めや。やすめ。」

(四) つばめ。つばめ。飛びこよ。つばめ。

古巢を忘れず、今年もここに

かへりし心、なつかし嬉し。

とびこよ。つばめ。かへれや。燕。」

花さく春

花さく春の あげぼのを、はやとくおきて、
みよかすと、なくうぐひすも こゝろして、
人のゆめをぞ さましける。

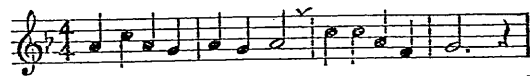
ホーホケキヨ、ホーホケキヨ、

ケキヨ、ケキヨ、ケキヨ、ケキヨ、ホーホケキヨ。

ホーホケキヨ、ホーホケキヨ、

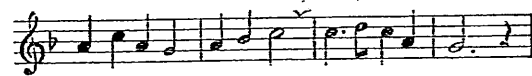
ケキヨ、ケキヨ、ケキヨ、ケキヨ、ホーホケキヨ。」

花 さ く 春



| 3 5 3 2 | 3 2 3- | 5 5 3 1 | 2- 0 |

はなさく はるの- あけぼの な-



| 3 5 3 2 | 3 4 5- | 5 6 5 3 | 2- 0 |

はやとく おきて- みよかし と-



| 5 6 5 5 | 3 2 1- | 2 2 3 2 | 1- 0 |

なくさぐ ひすも- こころし て-



| 1 2 3- | 5 6 5 3 | 2 1 2 3 | 2- 0 |

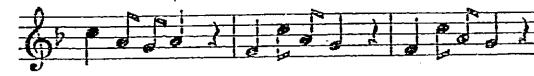
ひとの- ゆめをぞ まましけ る-

花 さ く 春 (つづき)



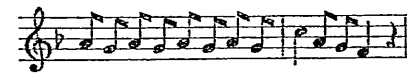
| 1 5 3 2 0 | 1 5 3 2 0 | 3 2 3 2 3 2 3 2 |

ホ-ホケキヨ ホ-ホケキヨ ケキヨケキヨケキヨケキヨ



| 5 3 2 3 0 | 1 5 3 2 0 | 1 5 3 2 0 |

ホ-ホケキヨ ホ-ホケキヨ ホ-ホケキヨ



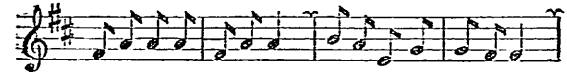
| 3 2 3 2 3 2 3 2 | 5 3 2 1 0 ||

ケキヨケキヨケキヨケキヨ ホ-ホケキヨ

友よ友よ



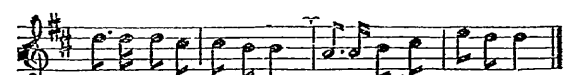
3 5 5 | 3 5 5 | 6 5 2 1 | 1 3 3 |
 (一) ト モ ヨ | ト モ ヨ | ヲ ガ ヨ キ | ト モ ヨ
 (二) と も よ | と も よ | わ が よ き | と も よ
 (三) ト モ ヨ | ト モ ヨ | ヲ ガ ヨ キ | ト モ ヨ



3 5 5 5 | 3 5 5 | 6 5 2 1 | 1 3 3 |
 フ ク カ セ | サ ム ク | エ キ サ ヘ | フ レ ド
 さ ら ひ を | セ ン ニ | ム チ と ほ | け れ ど
 サ ン ボ チ | セ ン ニ | ヒ ャ ア タ | タ カ シ



1̣. 1̣ 1̣ 7̣ | 7̣ 6̣ 6̣ | 5̣. 6̣ 5̣ 1̣ | 1̣ 3̣ 3̣ |
 エ カ ズ ヤ | ト モ ニ | ヲ ガ ガ ッ | コ ニ
 ゆ か ず や | と し に | わ が す む | い へ に
 エ カ ズ ヤ | ト モ ニ | ト ヲ ナ ク | ノ ベ ニ



1̣. 1̣ 1̣ 7̣ | 7̣ 6̣ 6̣ | 5̣. 5̣ 6̣ 7̣ | 2̣ 1̣ 1̣ ||
 マ テ マ テ | シ バ シ | イ マ ワ レ | エ カ ン
 ま て ま て | し ば し | い ま わ れ | ゆ か ン
 マ テ マ テ | シ バ シ | イ マ ワ レ | エ カ ン

友よ友よ

(一) 友よ友よ。わがよき友よ。

吹く風さむく、雪さへ降れど、ゆかずや、共にわが學校に。
 まて、まて、しばし。今われゆかん。

(二) 友よ友よ。わがよき友よ。

復習をせんに、道遠けれど、ゆかずや、共にわが住む家に。
 まて、まて、しばし。今われゆかん。

(三) 友よ友よ。わがよき友よ。

散歩をせんに、日は暖し。ゆかずや、共に鳥なく野べに。
 まて、まて、しばし。今われゆかん。

霞か雲か

- (一) かすみか、雲か、はた雪か、
とばかり匂ふ、その花ざかり。
もどりさへも うたふなり。」
- (二) 霞は花を へだつれど、
へだてぬ友と 来て見るばかり、
うれしきことは よにもなし。」
- (三) かすみて、それと 見えねども、
鳴くうぐひすに さそはれつゝも、
いつしか来ぬる 花の陰。」

霞か雲か



1. 3 5 i | 6 1 6 5- | 4. 5 3 1 | 2- 1 0 |

- (一) カ ス ミ カ ク モー カー ハ タ ユー キー カ
- (二) か す み ほ は なー んー へ だ つー れー ど
- (三) カ ス ミ ア ツ レー トー ミ エ ネー ドー モ



5 5 4 4 | 3 5 3 2- | 5 5 4 4 | 3 5 3 2- |

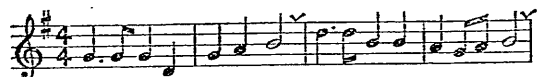
- ト バ カ リ ニ ホー フー ソ ノ ハ ナ ザ カー リー
- へ だ て ぬ と もー とー き て み る ば かー リー
- ナ ツ ウ ア ヒ スー ニー サ ツ ハ レ ツ ツー モー



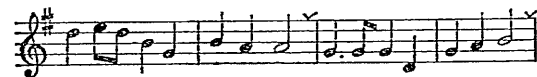
1. 3 5 i | 6 1 6 5- | 4. 5 3 1 | 2- 1 0 ||

- モ モ ド リ サ ハー モー ウー タ フ ナー リ
- う れ し き こ とー けー よ に もー なー し
- イ ツ ヴ カ キ ャー ルー ハ ナ ノー カー ヶ

見よみよ子ども



1. 1 1 5 | 1 2 3- | 5. 5 3 3 | 2 1 2 3- |
 (一) ミヨ ミヨ コド モー カキネノ ハナー チー
 (二) みよ みよ こども ながほの みづー なー
 (三) ミヨ ミヨ コド モー ツツミノ アリー チー
 (四) みよ みよ こども おにほの からー すー



5 6 5 3 1 | 3 2 2- | 1. 1 1 5 | 1 2 3- |
 アサー トク サキ テー ヒル マニ シゴムー
 あつー さに かけ すー さむさに こほらすー
 ツチー チモ トカスー マナツノ ヒナカー
 いるー くる ひれ どー やしなひ おやにー



5. 5 3 3 | 2 1 2 3- | 5 6 5 3 2 1 | 2 3 2 1- ||
 ソノイ サ ギヨー キー アサーガホノ ハナーチー
 たえすな がれー てー やすー まぬー さまーなー
 フェノソ ナヘー ニー カチーチパー ツムーチー
 おんをば かへー すー そのーありー さまーなー

見よみよ子ども

- (一) 見よ見よ、見よ見よ、垣根の花を。朝とく咲きて、
 晝間にしほむ、そのいさぎよき、朝顔のはなを。
- (二) みよみよ、見よ見よ、小川の水を。あつさに涸れず、
 寒さにこほらず、絶えずながれて、休まぬさまを。
- (三) 見よ見よ、見よ見よ、堤の蟻を。土をもとかす
 眞夏の日中、冬のそなへに、糧をば積むを。
- (四) みよみよ、見よ見よ、お庭のからす。色黒けれど、
 やしなひ親に 恩をばかへす。そのありさまを。

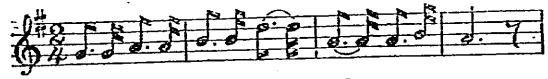
とんぼ

5. 5. 1. 3 | 5. 5 5 | 5 6. 5 | 3. 1 2 0 |
 (一) トーンホ トンホ ニ ハノ トンホ
 (二) あれあれ とんぼ に げて ゆくか
 1. 2 1 6 | 5. 6 5 0 | 5. 5 3 1 | 2. 3 1 0 |
 トー マレ キ ス メ カ キ ネ ノ ウ ヘ ニ
 い - け な こ え て ど - て な す ぎ て
 2 1. 2 | 3. 3 3 | 5 5. 5 | 3. 2 1 |
 カ ロ キ カ ラ ダ リ ス キ コ ロ モ
 と ほ く ゆ く な ま た し き た れ
 6 1. 1 | 5 1. 1 | 3 2. 1 | 2. 3 1 0 ||
 ヤ ド ハ イ ヅ コ ハ ナ カ ク サ カ
 こ の か き に は な の う へ に

とんぼ

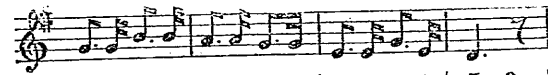
- (一) とんぼ。 とんぼ。 庭の とんぼ。
 とまれ。休め、垣根の上に。
 軽きからだ。うすき衣。
 やどはいづこ。花か草か。
- (二) あれ、あれ、とんぼ。にげて行くか、
 池をこえて、土手をすぎて。
 遠くゆく。な。またも來れ、
 この垣に、花のうへに。

動物園



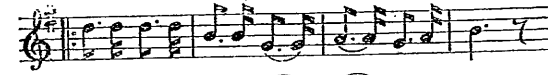
1. 1. 2. 2. | 3. 3. 5. 5. | 2. 2. 2. 3. | 2. 0

(一) マダミス クニノー ドーアツ テ
(二) くじやくは つばきー うちひる げ



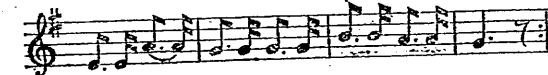
1. 1. 3. 3. | 2. 2. 1. 1. | 6. 6. 1. 6. | 5. 0

アツメテ ミスルー ツノノウチ
ほこるか ひとにー わがみえ



5. 5. 5. 5. | 3. 3. 1. 1. | 2. 2. 1. 2. | 3. 0

インドノ シシ モー チョー セン ノ
キバカミ イダシ クチ ナキ ヲ
あかまの おく のー おち けし



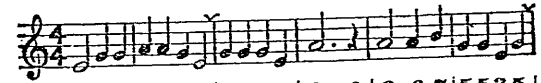
6. 6. 2. 2. | 1. 1. 1. 1. | 3. 3. 2. 2. | 1. 0

トラ モー エニル シ カタシ ナ
ヒトコトはー あれは る モノの ゴ
つとにー かはる よ の めぐ

動物園

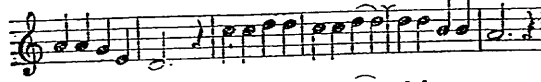
- (一) まだ見ぬ國の動物を 集めてみする園のうち、
インドの獅も、朝鮮の 虎も、晝にみし形して、
牙かみいだし、口をけり、一聲吼ゆるものすごさ。」
- (二) 孔雀はつばさうちひろげ、ほこるか、人にわがみえを。
赤きいただき、白き衣。鶴とはあれよ、水飲むは。
み山の奥の荒鷺も 里にかはるゝ世のめぐみ。」
- (三) くらき石段くだりゆく 水族館の室のうち、
ひれふる鯛の隣には、よこほふ蟹もおもしろや。
ガラスのなれば、手をのべて、つかみて見たや、あの魚を。」

龜と兎



| 3-55 | 6653 | 5553 | 6-0 | 6-67 | 5535 |

(一) カメト ウサギト アルトキ ニー ハーシイ クラベチ
(二) あしこそ かーめは おそけれ どー たーゆむ ひまなく
(三) イタリテ ミーレバ コハイカ ニー カノアシ オート



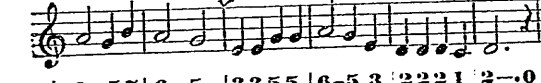
| 6653 | 2-0 | 1122 | 1122 | 2277 | 6-0 |

シタリシ ガー ウサギハ カメニー カタルヨ ー
ゆきしか ばー はやくも さきにー つきにけりー
アナドリ シー カメハ トクヨリ ユキツキテ



| 5553 | 6-5 5 | 3355 | 6-0 | 1-22 | 6653 |

ソノアシ オーツガ イカナレ バー ヲレニ カタント
うさぎは あまりの まんしん にー ひとつとびては
イハホノ ワーヘニ マチイタ リー ウサギハ コーゴニ



| 6-57 | 6-5- | 3355 | 6-5 3 | 2221 | 2-0 ||

アナドリ テー ハゲシメ シーコソ オロカナ レー
やーすか つーつー おこたりにー すすみゆくー
コーゴロ ナーレニ ユーダン セシマ ナ クイシト ヲ

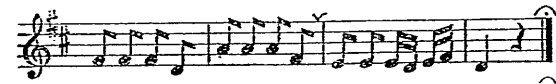
龜と兎

- (一) 龜と兎と、ある時に 走りくらべをしたりしが、
兎は龜に語るよ、その足おそが、いかなれば、
我にかたんと侮りて、耻らしめしこそおろかなれ。
- (二) 足こそ龜は遅けれど、たゆむひまなく行きしかば、
早くも先につきにけり。兎は、あまりの慢心に、
一跳とびては休みつゝ、おこたりがちに進みゆく。
- (三) 到りて見れば、こはいかに、かの足遅とあなどりし
龜は、とくより行きつきて、巖のうへにまちぬたり。
兎はこゝに心折れ、油断せし身を悔いしとぞ。

たまき



※ | 3 3 3 1 | 5 5 5 3 | 2 2 2 3 | 1 1 3 1 |
 (一) メケレド ハシナシ タマキノ コトクニ
 メケレド ハシナシ タマキノ コトクニ
 (二) あしなみ ただしく うたさへ たへなり
 あしなみ ただしく うたさへ たへなり



| 3 3 3 1 | 5 5 5 3 | 2 2 2 1 2 3 | 1 0 ||
 マドカニ メケレヨ ヤヨコードーモ
 マドカニ メケレヨ ヤヨコードーモ
 われらが たまきは よくめぐる
 われらが たまきは よくめぐる



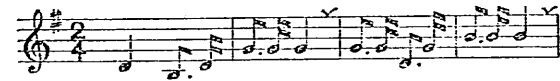
| 2 2 3 3 | 4 6 5 | 2 2 3 3 | 4 6 5 ||
 ヨキサタ ウタヒメ メケレヨ タレモ
 うたへど つきす われらが うたは

たまき

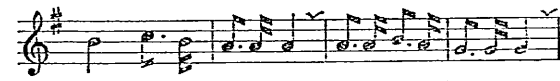
(一) めぐれど、端なし。環のごとくに、
 圓にめぐれよ。やよ、こども。
 よき歌うたひ、めぐれよ、たれも。
 めぐれど、端なし。環のごとくに、
 圓にめぐれよ。やよ、こども。」「

(二) 足なみ正しく、うたさへ妙なり。
 われらが環は、よくめぐる。
 うたへど、つきず、われらが歌は、
 足なみ正しく、うたさへ妙なり。
 われらが環は、よくめぐる。」「

紙 風 船



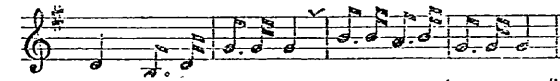
5 3. 5 | 1. 1 1 | 1. 1 5. 1 | 3. 5 3 |
 (一) マ ヲ ヲ マ ヲ ヲ フクラメ マ ヲ ヲ
 (二) ふ け や ふ け や ふ け ふ け こ ども



3 1. 3 | 2. 2 2 | 2. 2 3. 2 | 1. 1 1 |
 マ ル タ マ ル タ カ ホ ヲ リ マ ル タ
 ま る く ま る く つ き よ り ま る く



5 6. 5 | 3. 3 1 | 2. 2 3. 2 | 1. 1 5 |
 マ ル キ カ ホ ノ カ ク ル ル マ ア ニ
 ま り の し わ の な く な る ま で に



5 3. 5 | 1. 1 1 | 3. 3 2. 3 | 1. 1 1 ||
 マ ヲ ヲ マ ヲ ヲ フクラメ マ ヲ ヲ
 ふ け や ふ け や ふ け ふ け こ ども

紙 風 船

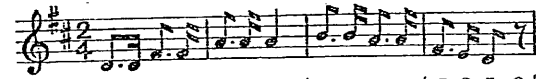
(一) まりよ。 まりよ。 ふくらめ。 まりよ。
 まるく、 まるく、 顔かほよりまるく、

まるき顔かほの かくるゝまでに、
 まりよ、 まりよ、 ふくらめ。 まりよ。

(二) ふけや。 ふけや。 ふけ。ふけ。こども。

まるく、 まるく、 月つきよりまるく、
 まりの皺しわの なくなるまでに、
 ふけや。 ふけや。 ふけ。ふけ。こども。

四千餘萬



1. 1 3. 3 | 5. 5 5 | 6. 6 5. 5 | 3. 2 1 0 |

(一) シーゼン ヨマン アニオト ドモヨ
 (二) つるぎにかほる ほづつの ひびき
 (三) カガミト スルハ オホクノ ショモツ
 (四) たまにも まさる こころの ひかり
 (五) シーゼン ヨマン チカラチ アハセ



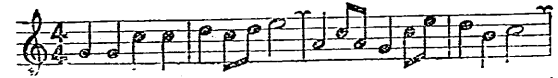
1. 1 2. 1 | 6. 6 5 | 1 6. 5 | 3. 2 1 0 ||

マモリニ マモレ キミガ ヨーチ
 むかへる てきを うちはらーへ
 ココニ ヲタリ テラシ ミーヨク
 みがきに みがけ たゆみ なーく
 マモリ コマモレ キミガ ヨーチ

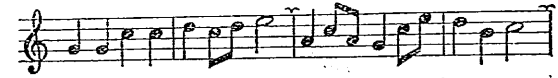
四千餘萬

- (一) 四千餘萬 あにおとどもよ、君が代を。
- (二) 劍にかほる ほづつのひびき。むかへる敵をうちけらへ。
- (三) 鏡とするは、おほくの書物。古今にわたり、てらしみよ。
- (四) 玉にもまさる 心のひかり、みがきにみがけ、たゆみなく。
- (五) 四千餘萬 ちからをあはせ、まもりにもまもれ、きみがよを。

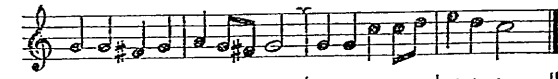
魚 と 水



5 5 i i | 2̣ i 2̣ 3̣ - | 6̣ i 6̣ 5̣ i 3̣ | 2̣ 7̣ i - |
 (一) ヒレフル リチーハー ミツコソ トモヨ
 (二) さきなみたてて みづゆく うなは



5 5 i i | 2̣ i 2̣ 3̣ - | 6̣ i 6̣ 5̣ i 3̣ | 2̣ 7̣ i - |
 ナガルル ミツハ ウチーコソ トモヨ
 きんぎか こひーか めだかか ふなか



5 5 4 5 | 6 5 4 5 - | 5 5 i i 2̣ | 3̣ 2̣ i - ||
 コドモトモトナカヨク アソベ
 こどもとも - に - たのしく あそべ

魚 と 水

(一) ひれふる魚は、水こそ友よ。

ながるゝ水は、魚こそ友よ。

(二) さゝ波たてて、水ゆく魚は、
 こどもも友と 中よく遊べ。

金魚か鯉か。めだかか鮒か。

こどもも共に 楽しく遊べ。

軍隊あそび

(一) 進めや進めや、太鼓を腰に。

進撃いまぞ。ならせや。うてや。

ドンく、ドンく、ドン、ドンくく。

(二) 進めや進めや、喇叭を口に。

戦闘いまぞ。ならせや。ふけや。

テット、テット、テット、テット。

(三) 進めや進めや、鐵砲をかたに。

来るは敵ぞ。狙へや。うてや。

ボンく、ボンく、ボン、ボンくく。

軍隊あそび

Musical score for '軍隊あそび' in G major, 2/4 time. The score consists of two systems of music. Each system has a vocal line and a piano accompaniment line. The piano part includes numerical figures for the left hand and rhythmic notation for the right hand. The lyrics are written below the vocal line.

Lyrics:
 (一) ススメメヤ ススメメヤ タイコチコシニ
 (二) ススメメヤ ススメメヤ テッポウチカニ
 シンゲキ イーマゾ ナラセヤ リテヤ
 センタル テーキソ ネラヘヤ フテヤ

教育唱歌全八册

明治二十九年一月二日第一集 印刷
 明治二十九年一月十日第一集 發行
 明治二十九年五月十五日第二集 印刷
 明治二十九年五月廿六日第二集 發行
 明治二十九年八月一日第一集訂正再版發行
 明治二十九年十二月廿五日第二集訂正再版發行
 明治三十年十二月十五日第二集訂正三版發行
 明治三十年十二月廿五日第一集訂正三版發行
 明治三十一年七月五日第二集訂正四版發行
 明治三十八年八月十七日修正五版發行
 明治三十九年一月廿五日訂正六版印刷
 明治三十九年一月廿八日訂正六版發行

定價各册金拾八錢

著作權所有 不許拔萃

編纂者 教育音樂講習會

發行所 東京市小石川區小日向水道町七十三番地 西野 虎吉

印刷所 東京市京橋區築地三丁目十五番地 野村宗十郎

發行所 東京市小石川區小日向水道町七十三番地 東京 関成館
 電話特番町三五五番

發行所 大阪市中心齋橋通北久寶寺町角 大阪 関成館

發行所 東京市日本橋區通三丁目 六合館 林平次郎

